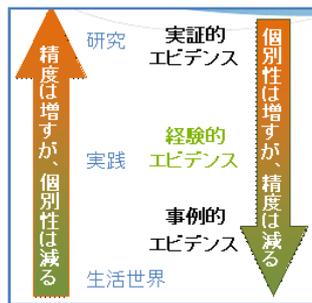


組み合わせあって、実践者の経験的エビデンスに情報を与えてくれます。実践の世界では、実証的エビデンスと事例的エビデンス



ビデンスは経験的エビデンスに重なります。つまり経験的エビデンスは長年の実践と人生経験から得られる実践者の直感を含むものだからです。

ここからは3つのタイプのエビデンスがいかに実践者の役に立つか見ていきましょう。

図が示すように、実証的エビデンスは主に実践者の専門的知識に貢献する個々の研究の形をとります。

◆ 実践のためのガイ

ドラインを与えてくれることにより実践者の専門知識に貢献する

◆ 医療社会の中で専門職として園芸療法を後押しする

◆ 治療法としての園芸療法の有効性を支持する

◆ 施設にガーデンをつくったり、園芸療法士を雇用する気にさせる

◆ 関連する療法の専門職と共に働く後押しをする  
実証的エビデンスの例を挙げてみましょう。ロ



ジャー・ウルリッチ教授は、有名な研究の中で同じ胆のうの手術を受けた成人について調べました。

無作為に選ばれた患者のうちの何人かは木々の見える窓のある回復室を割りあてられ、またある人たちはレンガ塀だけが見える部屋を与えられました。

結果、実証的データによれば、木々を眺めた患者はレンガ塀を眺めていた患者よりも入院日数がかなり少なく、術後、不快の訴えが少なかった。

また、鎮痛剤の投与も少なかったことが明らかになりました。自然を眺めていた患者の方が、回復により効果がありました。この研究は他の対象者や環境でも繰り返し行われ、同じような結果となりました。このことから自然環境を眺めることは回復に効果があり、プラスの健康効果をもたらす。つまり、窓から見える景色は術後の回復に影響を及ぼす可能性がある」と結論付けました。(Ulrich, R. S. (1984) *Science*, 224: 42-421.)

## Empirical Evidence

Supports HT as a profession within the health care community



- In 1979 Markee and Janick conducted a large search of the literature and noted that while the subject of HT was rich in content and emerging importance, it lacked "hard evidence" needed to promote the profession of HT.
- They especially promoted the need for data to be published in mainstream medical journals as one way to inform the health care community and as a vehicle for exposing HT to a broader group of allied and adjunct professions.
- Today, the *AHTA Journal of Therapeutic Horticulture* publishes manuscripts on the many facets of the profession, including research, case studies, program and service descriptions, therapeutic garden design, and other issues in the profession.

1979年 Markee と Janick は大規模な文献調査を行い、園芸療法というテーマは、内容豊富で新たな重要性を持っているものの、その職業を發展させるのに必要な“確かな証拠”が欠けていることに気づきました。彼らは特に医療社会に情報を提供するための一つの方法として、また関連する職業グループにより広く園芸療法を知らせるための手段として、主流の医学雑誌に掲載するデータの必要性を説きました。

今日、AHTA の雑誌 **Journal of Therapeutic Horticulture** は、調査、事例研究、プログラム・サービスの説明、療法的ガーデンの設計、その他の問題を含む専門職の多くの面に関する原稿を公開しています。実証的エビデンスは他にも、医療分野と関わる専門職としての園芸療法をサポートして、実践者の専門知識に貢献します。入居介護施設は、ガーデン環境の療法的利点(お金の節約)に関する研究成果を読み、敷地内にガーデンをつくったり、より良いものにしようという気運が高まるかもしれないと思います。

初期の研究は園芸療法に焦点をあてるところから始まりましたが、現在では、広範囲にわたる医療の中の治療法としての園芸療法の利用を研究しています。

## Empirical Evidence

Supports efficacy of HT as treatment modality



- Empirical studies currently examine the use of HT as a treatment modality for a wide range of health care issues.
- E.g., a study by Wichrowski et al. determined that horticultural therapy improved mood and heart rate in patients participating in an inpatient cardiopulmonary rehabilitation program.
- Studies like this produce reliable data that practitioners can apply to their knowledge base and will ultimately use in their work with clients.

## Empirical Evidence

Encourages and facilitates integration with allied therapeutic professions



- Research promotes working with allied fields such as physical therapy, occupational therapy, recreational therapy, and music and art therapies.
- These multidisciplinary research teams can reach a broader audience as they integrate health and

例として Wichrowski らによる研究では、園芸療法は心肺リハビリテーションに参加した入院患者の気分と心拍数を改善することがわかりました。

このような研究は、実践者が自分の知識のベースに蓄え、最終的にクライアントとの仕事で応用することができ、信頼性の高いデータを産み出します。そして治療法としての園芸療法の有効性を支持することができます。つまり、実証的エビデンスは広く認められ、高く評価された治療法としての園芸療法の、有効性を支持することにより、実践者の専門知識に貢献します。

実証的エビデンスはマーケティングにも利用されます。たとえば、施設にガーデンを設計・施工したり、プログラムを実施できる園芸療法士を雇用する後押しをします。つまり、マーケティングツールとして、新しい園芸療法プログラムと園芸療法士雇用に扉を開くことも可能です。

例を挙げます。園芸療法の健康効果を支持する実証的証拠は、高齢者介護コミュニティ、メモリー・ケア・ユニット、デイケアプログラムに園芸療法要素を加えるために、資金を使う決定を後押ししました。さらに入居介護施設は、ガーデン環境の療法的利点に関する研究成果を読み、敷地内にガーデンをつくったり、より良いものにしようという気持ちにさせる可能性もあります。

## Empirical Evidence

Motivates facilities to design and build gardens and to hire horticultural therapists



- ◆ As a marketing tool, empirical evidence can open doors for new horticultural therapy programs and hiring horticultural therapists.
- ◆ E.g., empirical evidence supporting the health benefits of HT can fortify the decision to expend funds to add an HT component in a senior care community, memory care unit, or adult day program.
- ◆ Residential care facilities may be more motivated to build or enhance a garden on site when they read the research findings about the therapeutic (money-saving) benefits of garden environments.

最後に、実証的エビデンスは関連する療法の専門職と共に働くことを後押しをすることで、園芸療法実践者の実践領域を広げます。これらのグループと強く連携する際、幅広い領域、たとえば、老年医学、環境心理学者、生態学者、心理学者、看護師などの研究は、園芸療法実践者に知識と実践を豊かなものにしてくれる学際的洞察力を与えてくれます。また、研究は、理学療法、作業療法、レクリエーション療法、音楽・芸術療法など関連分野との協働を推進します。つまり、これらの学際的な研究チームは、健康と治療を統合するので、より幅広いオーディエンスを獲得することができるようになると思います。

## Anecdotal Evidence

Contributes to practitioner knowledge base and overall expertise

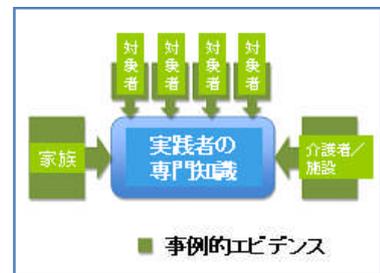
- ◆ Supplements empirical evidence by providing information about individual differences at the “lifeworld” level



事例的エビデンスについてお話ししましょう。

顧客の満足はヘルスケア・ビジネスにとって重

要な要素になりつつあり、担当者は患者や対象者が体験したことについての話を聴きたがりま



す。

園芸療法実践者や介護施設にとっても同じことが言えます。図が示すように、事例的エビデンスには個々の対象者、家族、介護者からの情報が含まれ、それらのすべてが実践者の専門知識を形成しています。実践者の知識ベースと総合的な専門知識に貢献し、「生活世界」レベルでの個人差に関する情報を提供することにより、実証的エビデンスを補足します。まとめると、下記ようになります。

- ◆ 対象者、家族、介護者からの価値観・嗜好に関する情報を含む
- ◆ 実践者の知識ベースと総合的な専門知識に貢献する
- ◆ 個々の対象者に対する実践者のオーダーメイド治療戦略に役立つ